

スポンサー様

2013 Hot Products IJSBA World Finals



開催日

10月6 - 13日

開催地

アメリカ合衆国 アリゾナ州 レイクハバスシティ

出場クラス

Pro/Am Ski Lites

Pro/Am Ski Limited

Pro Ski Open

結果

Pro/Am Ski Lites 予選 : 6位

Moto#1 : 2位

Moto#2 : 8位

総合 : 6位

Pro/Am Ski Limited 予選 : 3位

Moto#1 : 4位

Moto#2 : 5位

総合 : 3位

Pro Ski Open 予選 : 5 位

Moto#1 : 12 位

Moto#2 : 8 位

Moto#3 : 11 位

総合 : 10 位

Pro/Am Ski Lites

このクラスは発売状態で 85 馬力以下である、カワサキの SX-R とヤマハの Super-Jet 限定のクラスです。カワサキよりもヤマハの方が改造制限が広いため有利であり、特にノルウェー勢のヤマハが群を抜いて速いのです。私は SX-R を使用して出場し、昨年にこのクラスで 2 位になったため、そのヤマハにリベンジするために参戦をしました。

このクラスはフルグリッドの 20 艇でのスタートでした。そのうちノルウェー勢は 6 人のエントリーがありました。今回のスタート方法自体は例年同様にラバーバンドでのスタートなのですが、スタートのタイミングが全くと言っていいほど異なり、ほとんどの選手がタイミングをつかめずにフライングをする選手が続出しました。

予選ではスタートグリッドは抽選で決まり、インコースの内側から 4 番目の場所からのスタートでした。スタートでは出遅れてしまい、インコースの 6 位で合流では 11 位でした。その後は予選の周回数の 6 周という限られた周回数の中で、チョイスコースや 3 点ブイを外から抜きに行くなどの方法で毎週 1 艇ずつ抜き、6 位で予選を通過する事ができました。

Moto#1 ではヤマハよりもトップスピードが伸びないために、インコースの 3 番目からのグリッドを選びました。スタート前にセルモーターと電装ボックスが繋がっている + の線が断線し、どうにか直結させてエンジンをかけたものの、危うくスタートができないというトラブルに見舞われました。しかしこのトラブルのお陰か焦りと共に緊張がほぐれたのか、ラバーバンドの下をくぐるようなスタートを決める事ができ、インコースの 2 位で合流では 3 位でホームストレートを通しました。レース中盤でどうにか 2 位の選手を抜くことができたものの、その時には 1 位の選手との距離が離れてしまい追い詰める事ができずにゴールとなりました。

Moto#2 ではインコースのポールポジションでのスタートでした。1 度目のスタートは完璧でホールショットが確実だったものの、他の選手のフライングにより再スタートとなりました。2 度目のスタートでは若干遅れてしまい、インコースの 4 位で合流では 9 位でした。その後すぐに 8 位に上がる事ができたものの、ストレートで離されてしまうヤマハ勢を追い抜くことができず、なかなかチャンスを作ることもできずに 8 位のままゴールとなってしまいました。

Pro/Am Ski Limited

このクラスでは 2 ストローク・4 ストローク共に出場できるクラスではありますが 4 ストロークのターボ艇が毎年 Top3 を独占しています。その中私は昨年に 2 ストロークのみのクラスで世界チャンピオンになれた自信のもとに、“挑戦” という意味でこのクラスに参戦をしました。

予選では抽選でアウトコースからのスタートになりました。スタートのタイミングも良く、1 ブイの中盤までは一番前を走っていました。しかしストレートの長いアウトコースではトップスピードの速い 4 ストローク勢に有利であり、アウトコースの 3 位で合流では 5 位でした。その後 2 周目に 4 位の選手のミスを超えてコーナーをクロスに入って抜き 4 位に浮上しました。また、レース中盤にもチョイスコースを上手く使い、3 位まで浮上しました。しかしそこからは 2 位の選手に追いつくことができず、3 位でのゴールとなりました。

Moto#1 では、インコースからのスタートを選びました。1 度目のスタートでは他の選手のフライングでやり直しになり、2 度目のスタートではゴムの下をくぐっていくような抜群のタイミングで抜け出しました。しかしインコースの 1 ブイまででも 4 ストロークの方が速く、どうにかインコースの 3 位で合流では 5 位でホームストレートを通しました。その後すぐに 1 艇の 4 ストロークを抜いて 4 位に上がるものの、そこからは追い抜くことができずに 4 位のままのゴールとなりました。

Moto#2 でもインコースからのスタートを選びました。スタートのタイミングは悪くなかったものの、やはり 1 ブイまでの後半以降にトップスピードで負けてしまい、インコースの 4 位で合流では 7 位でした。その後レース中盤までにどうにか頑張っ 5 位まで上がったものの、4 位の選手を追い抜く事ができずに 5 位でのゴールとなりました。

世界第 3 位を獲得!!



Pro Ski Open

今年もジェットスポーツの最高峰クラスである Pro Ski Open に出場しました。ただ、他のチーム員がレースに使うなどの理由であまりテストができず、予選当日にポンプを交換するなどバタバタした中での出場となってしまいました。また、マシンの速度的にトップの選手と 20km 以上差があった為、とても不安でいっぱいのまま予選へ行くことになりました。

予選の私のグループには 16 艇の出場者がおり、上位 9 位が予選突破のボーダーラインでした。2 位までしか上がれない敗者復活戦に行ってしまうとマシンの予選落ちがほぼ確定なので、どうにか 9 位でもいいので予選通過を目標にスタートをしました。スタートのタイミングは良かったものの、全ての選手に 1 ブイまでに抜かれていってしまいました。しかし合流時に最後尾にいることは予選落ちを意味するので、半ば強引ながらも頭を使って順位を上げていき、ホームストレートを 10 位で通過しました。自分より前にいる選手の頭数を数え、自分が 9 位以内でないことがわかると、“死ぬ気で順位を上げるしかない!!” と思い集中して走りました。その後は前を走っている選手とのスピード差がはっきりわかるほど違ったものの、チョイスコースやログジャンプを上手く使いレース終盤には自分でも驚きの 6 位までに順位を上げていました。最終ラップに 5 位の選手を鼻差で抜いて 5 位に上がってのゴールとなりました。

Moto#1 はフルグリッドの 20 艇でのスタートでした。マシンを考えてこのクラスもインコースからのスタートを選びました。スタートのタイミングは完璧に良かったものの、インコースのラバーバンドがなぜか切れないというトラブルが起きました。それに戸惑って一瞬アクセルを抜いてしまった隙に全艇に行かれてしまい、再スタートにもならず最悪のスタートとなりました。当然インコースの最後尾で、合流では 17 位でホームストレートを通過しました。そこからはどうにか 2 周に 1 艇のペースで追い上げていく事ができ、5 艇抜

いて 12 位でのゴールとなりました。

Moto#2 では、2 度もフライングでの再スタートになり、3 度目でようやく緑旗が振られました。相変わらず 1 ブイまでにどんどん離されていってしまうものの、ラインを考えて走り合流では 12 位でホームストレートを通過しました。その後ログジャンプを上手く超えられるようになり、そこから順位を上げやすくなる事ができました。レース中盤までに 4 艇を抜いて 8 位まで上がる事ができたものの、7 位の選手との距離が離れていてしまっていてそのままの順位でゴールとなりました。

Moto#3 が今年のワールドファイナルの最後のレースでした。Moto#2 までの総合順位では Top10 に入っていたので、どうにかその順位をキープできるように、そして悔いを残さないように走ろうと思いました。スタートを誰よりも速く切れたものの、後ろからスピードの乗った選手に明らかな斜行を受け、その選手の引き波に乗ってしまった間に何艇かに抜かれてしまいました。ホームストレートを 14 位で通過し、今まで同様に確実に順位を上げて 9 位まで上がる事ができました。しかし、焦りのせいか 1 度ミスブイをしてしまい、イレイザーブイを回っている間に 11 位まで落ちてしまいました。その後は順位を上げることができずに 11 位のままでゴールとなりました。

世界最高峰プロクラスにおいて Top10 を獲得!!



レースを終えての感想

今年のワールドファイナルも事故なく無事に終える事ができました。今回の結果に関しては“良く頑張った!!”と自分を褒められるような結果であったと自負しています。用意されたマシンでのベストリザルトであったと思います。リミテッドのクラスでは 2 ストロークが不利な中、運も味方につける事ができ、3 位表彰台に乗る事ができました。また

プロスキーでは他の選手との圧倒的なマシンの差があったものの、去年は達成のできなかった Top10 に入ることができました。

ただ、このような結果を残すことができたのも一重にスポンサーの皆様のご支援・ご声援のお陰であります。ありがとうございました。

次のレースは 11 月にマレーシアでのレースを予定しています。このマレーシア戦はタイのキングスカップに向けての最後の調整になるので、良い結果を残せるように頑張りたいと思います!!

今後とも応援の程宜しくお願い致します!!



Team WPS Japan

小原 聡将